

「知的財産シンポジウム in Tokushima 2011」

主催:日本弁理士会、日本弁理士会四国支部、徳島大学

6月4日(土)～5日(日)の2日間、徳島大学の常三島キャンパスで開催。約600人の方々が参加しました(一般約260人、学生約340人)

1. 開会の挨拶

実行委員長の井上誠一 日本弁理士会副会長の開催宣言によって、シンポジウムが開幕。

飯泉嘉門徳島県知事、奥山尚一 日本弁理士会会長及び香川征徳島大学学長による開催の挨拶がありました。



井上 実行委員長



飯泉 徳島県知事



奥山会長



香川学長

2. シンポジウム

知的財産権法、産学連携、知的財産教育を3つの柱として、2日間で合計15のセッションを開催しました。

人気のセッションには学生が殺到し、300人収容の会場に多くの立ち見が出るものもありました。



3. 岩井良行特許庁長官の特別講演

徳島出身の岩井特許庁長官が、特別講演「世界をリードする知的財産立国 日本」を行い、好評を博しました。



岩井長官
の講演



特別講演の
会場の様子

4. ポスターセッション

大学、TLO及び知的財産関連機関から募って「ポスターセッション」を開催しました。各機関の担当者がプレゼンを行い、ポスターをPRをしました。

審査は、①ポスターデザイン、②プレゼン、③総合、の3つの要素で行い、最優秀賞をはじめ7つの機関が受賞されました。



ポスターセッションの受賞者

(向かって左から4人目は、徳島大学 福井 萬壽夫 副学長(実行委員長))



ポスターセッション
での各機関のプレ
ゼンの模様

5. 閉会

田中幹人 日本弁理士会四国支部長の挨拶により、2日間に渡るシンポジウムが盛会裏に終了しました。



田中 四国支部長

※岩井長官の講演を含むシンポジウムの記事が、平成23年6月5日の徳島新聞(web版含む)に掲載されました。

http://www.topics.or.jp/localNews/news/2011/06/2011_130723755502.html